

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社KRC)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用条件及び昇進、福利厚生をはじめとするあらゆる労働条件について、経営トップが積極的に関与し差別のない体制を構築している。(研修の実施 相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント禁止の掲示、相談窓口の設置を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・経営者及び全社員が働き方改革の主旨を共有している。 ・裁量労働制やテレワークなど多様な勤務体制を導入している。 ・健康状態の確認と合わせ勤務時間の適切な管理を行っている。								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・現在は外国人労働者はいないが、差別や人権侵害の排除の意識は社内でも共有している。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本		【予定】	・安全衛生推進者を中心に労働安全衛生法に基づいた労働環境整備に取り組んでいる。 【予定】安全衛生優良企業認定の取得を検討			3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・身体とメンタルヘルスを含めた相談室を設置。 ・2か月に1度「健康状態自己診断カード」を提出してもらい健康状態の把握に努める。 ・健康状態によりヒアリングを実施する。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・社内キャリアチャレンジ制度を設けるなど、多様な人材が活躍できる仕組みを導入している。 ・多様な業務の経験者の採用を積極的に行っている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			技術研修会を実施し、社員研修の機会を積極的に進めている。				4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法の改正内容を踏まえ、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・社員の定期健康診断費用の全額補助。 ・身体とメンタルヘルスを含めた相談室を設置。 ・「健康状態自己診断カード」にて健康状態を把握。			3					8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の分別を徹底するとともに、危険物等の取り扱いについても法令等に従い適切に処理している										11.6	12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	・電気、ガスの使用量を把握し、エネルギーの節減に努める。 ・【予定】資源エネルギー(電気・ガス・水道、紙)削減目標の設定							7.3					13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・太陽光発電システムを導入し、電気使用量の節減に努めている。 ・社用車のハイブリット化の推進。							7.2 7.3				12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害物質を把握し、使用制限及び適正な使用に留意している			3.9			6.3				11.6	12.4							

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・業務(技術提案等)の実施にあたり、測量や調査などの現地作業および成果のとりまとめなど業務全体を通じて、生物多様性・生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・資源ゴミの分別を徹底し、リサイクル効果の向上に努めている。 ・不要物について、リユースを積極的に行っている。												12.5		14.1			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・上水道の使用量を把握し、削減や効率の改善に努めている。 ・水道やトイレ設備を更新し、利用効率の改善を実施している。 ・雨水タンクを設置し、花壇の水や刈に使用している。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	【予定】ISO14001、長野県のエコアクション21等の環境マネジメント規格の取得を検討していく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・社有地の市道沿いに花壇を設け、沿道景観の向上や環境美化に、グリーンインフラの実装に取り組んでいる。												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			社屋屋根に太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2						13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・天然資源の資材の導入・使用に配慮しているとともに、顧客への天然資源活用促進の提案を積極的に行っている。												12.2	13	14	15		
公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職、贈収賄を含む不正行為等の行動規範を就業規則の服務心得に整理し、社内で浸透させるとともに、随時チェックを行っている。																16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を含む不正行為等の行動規範を就業規則(服務心得)に整理し、社内で浸透させるとともに、随時チェックを行っている。																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産(発明考案を含む)の取り扱いについて、就業規則に明示し適切に対応することとしている。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本		【予定】	・社内で独自の「特定個人情報取扱規程」を設けその周知徹底に努めている。 ・【予定】ISO27001(情報セキュリティ)の取得を検討していく。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・紛争鉱物の知識の社内共有と取扱禁止の徹底																	16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引先や事業パートナーとは人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止を始め、ハラスメント・汚職・贈収賄防止の意識を常に共有している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・【予定】「パートナーシップ構築宣言」を令和6年3月までに作成し公表する。			3					8	9	10							

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・ISO9001：2015を取得し、適正に運用している。 ・業務における段階確認の他、様々な顧客サービスにおいてリスク管理を徹底し、安全性の確認を行っている。			3.9										12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・ISO9001：2015を取得し、適正に運用している。 ・業務執行にあたって、各段階でのレビューを行い品質及びサービスの向上に向け取り組んでいる。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・顧客とも環境に対する意識を共有しながら、環境配慮型の製品やアイデア等について積極的な提案を行っている。						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・グリーンインフラの効果的な推進を行う戦略の提案に取り組んでいる。 ・地域の（社会・自然）文化遺産を活用した持続可能なまちづくりの提案に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・業務提案により行われたインフラ等の整備効果について、社内での検証を行い、結果のフィードバックなどを行っている。 ・外部機関による評価の機会を積極的に増やしていく。				4				9		11	12		14	15			17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・環境NPO法人の活動に参加するなど、地域の環境・防災活動への参画を行っている。 ・環境・防災・福祉等の社会貢献活動への参画の機会を増やしていく。				4						11			14	15			17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・地域の自然的、文化的資産の他、特産品など、地域の特徴的資源の積極的な活用を行っている。 ・社屋の改修での地域原材料の積極的導入を実施。								8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営陣が経営理念を明文化し、社員全員が共有している。 ・社員参画により未来のへのビジョンを策定。								8	9								17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・定期社内会議においてコンプライアンスについて周知徹底をしている。 ・コンプライアンス規定の作成を検討している。																16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・責任者（技術本部長）を置き、社会・環境活動への影響の監視をおこなっている																16		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・業務提案により行われたインフラ等の整備効果について、社内での検証を行い、結果のフィードバックなどを行っている。															16	17		
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・社内の品質管理マニュアルにおいてリスク管理の手法を規定し、適切な対策を講じている。																16		
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・業務提案による社会・環境への影響を検証し、その結果による社会的責任を果たすよう取り組んでいる。 ・CSR指針の策定を検討していく。																16		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			【予定】	【予定】BCPの策定および定期的な訓練の実施を検討していく。								9		11		13 13.1				16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ				・取締役の選解任基準を設け、経営者としての資質を明文化。							8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定